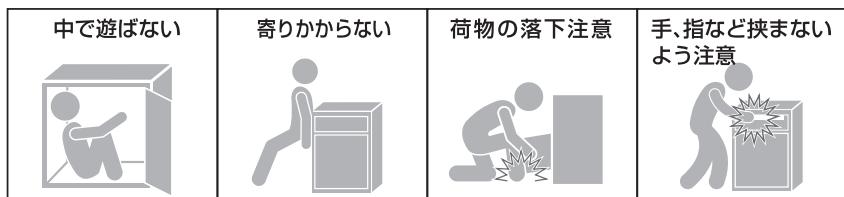


安全上のご注意

○ 警 告

※ケガや事故などが起こりましても一切の責任・補償を負いかねます。



●中に閉じ込められる危険があります。
中に入らないでください

！ 注 意

※軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがあります。

- 扉を開けたままにされると歩行者の妨げや、雨水侵入の原因になりますので扉を必ず閉めてください。
- 最大重量、受取可能サイズ以上の荷物を入れると、歪みや故障の原因となる恐れがあります。
- 雨の入りにくい構造ですが完全防水ではありませんので郵便、宅配物はなるべく早く取り出してください。
- 生鮮食品等保管に適さないもの、現金・貴重品等は使用しないでください。
- 設置場所は雨のかかりにくい場所を選び、扉が開かないよう水平な場所でお使いください。
- 水に濡れたまま使用されますとサビ・故障の原因になります。ご使用後の修理・交換は対応いたしかねます。
- 自然災害（例：地震、台風、津波）、いたずら、宅配業者様の取扱時の事故や収納物の破損、紛失、盗難等その他不可抗力による事故やケガ等が発生いたしましたとしても当社は一切の責任・補償を負いかねます。

「宅配ボックス」の使い方

◆ボックスの扉を開き荷物を収納し扉を閉めてください。

「ワンタッチロックキー」を押せば「ロック」が掛かります。

「ロック」を掛けた状態では扉からの収納はできません。荷物を受け取る際は解錠状態にしてください、解錠する場合は同梱の「キー」をご利用ください。

※最大収納サイズは各ボックスで異なります詳細は梱包箱をご確認ください。

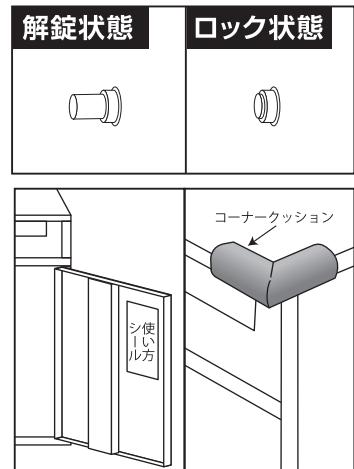
メモを取る等してご使用の際に重量やサイズを守ってお使いください。

※ボックス内に「キー」を入れたまま「ロック」すると扉を開けることができなくなりますのでキーは取り出してから、ロックしてください。

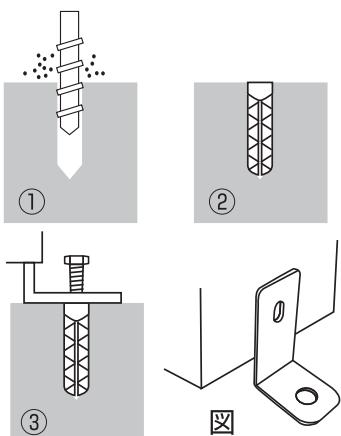
※付属品の「宅配業者様向け使い方シール」は、扉の裏に貼ってお使いください。

※付属のコーナークッションを本体のコーナー部にご使用ください。

※商品によっては使い方シール、コーナークッションが付属しないものもあります。



コンクリート用「付属アンカー」の使い方



①コンクリート用ドリルで $10\phi \times 55\text{mm}$ 程度の下穴をあけ、コンクリート粉を取り出して穴の中をきれいにします。

②下穴にコンクリート用プラグを差し込みます。

③付属アンカーで締め付け、水平になるよう固定してください。

コンクリート以外には設置場所に適した市販のものを使用してください。

固定金具とビスは本体に仮付けされていますのでビスを一度外し、(図)のように取付けご使用ください。THB-3115、2128は外さず固定してください。

注)別売りシムTHB-258N、276用台座をご使用の場合、固定金具をつけたままで台座と接続できません。

お願いとお手入れ

- 不在時には宅配ボックスの使用を最寄りの配達業者様へ伝えてください。
- 印鑑はお客様でご用意ください。印鑑の状態を月1回確認してください。
- さびたりすることがあります。長持ちさせるために、砂埃・水濡れ等に注意し、乾いた布などでこまめに拭いてください。

「可変式ダイヤルロック」の使い方

◆型式によっては郵便ポストが無いものもあります

可変式ダイヤルロックの解錠番号は、任意に設定・変更が可能です。

メール便・郵便物等は投入口から投函します。

可変式ダイヤルロックで解錠し郵便などを取り出してください。

◆施錠・解錠方法

解錠方法：本体の（扉表）についているダイヤルを解錠番号にセットして

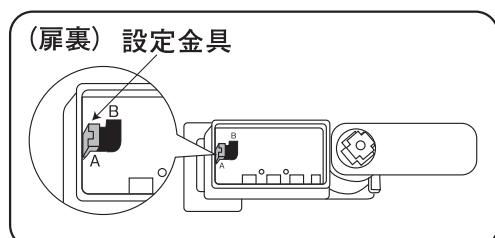
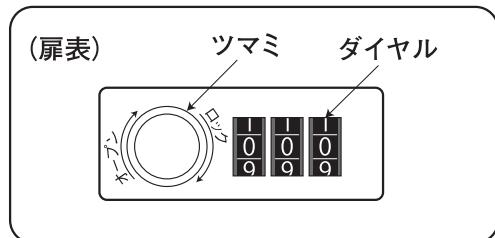
ツマミを右に回すと扉を開くことができます。

施錠方法：扉を閉じて、ツマミを左に回してダイヤル番号を回すと施錠できます。

◆解錠番号の任意設定

初期の解錠番号は「0・0・0」に設定されています。

番号を変更されたい時は、次の手順に従って設定してください。



①ダイヤルが解錠状態（初期は「0・0・0」）であることを確認します。

②ダイヤルロックの裏面（扉裏）にある設定金具がAの位置にあることを確認します。

③設定金具をA→Bに移動します。

④ダイヤルを任意の番号に設定します。

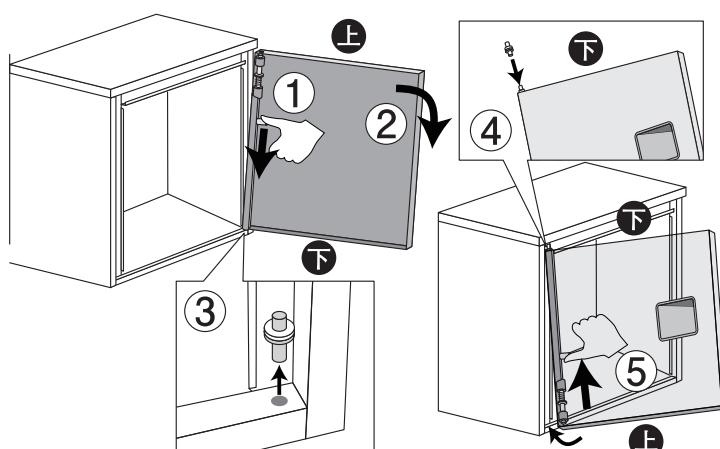
⑤設定金具をB→Aに戻し解錠番号の設定完了。

△ 使用上の注意

- 本製品はダイヤルロックを使用しています。任意で設定した解錠番号は、必ず手帳などにお控えいただき大切に保管してください。
- 解錠番号のお忘れ、設定方法の間違いにより解錠不能になった場合当社ではその責任を負いません。
- 番号がわからなくなったり、以前に使用された方に確認していただくか、ダイヤルを「0・0・0」から「9・9・9」まで回して解錠番号を見つけるしか方法はありません。
- 解錠不能に関してのお問い合わせはご容赦ください。

ユニットTHB-3Dan 扉の付け替え方法

「右開き・左開き」がお選び頂けます



出荷時は右開きの状態です。

①扉を開け上部バネ部分のつまみを下げ軸棒を上軸穴から抜きます

②扉を外します

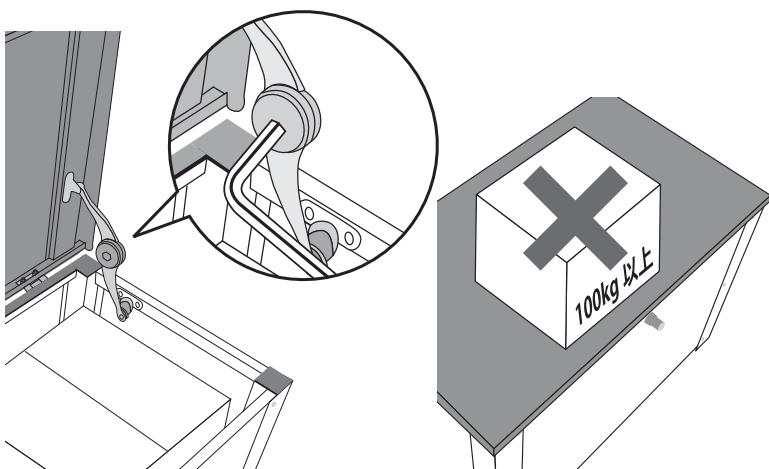
③扉下部に付いている金具を取りはずします
※金具は付け替えに必要です紛失しない様にしてください

④扉を上下逆さにして③で取り外した金具を扉の左上軸穴に取付けます

⑤バネ部分のつまみを上に押さえながら④で取付けた金具を左上軸穴に合わせ差し込みます
左下軸穴にバネ部分の軸棒を合わせ差し込みます

※扉の開閉をご確認の上ご使用ください

リシムベンチのダンパー等の使い方



◆ダンパーの開閉を定期的に確認し、両方の調整ねじを付属の六角レンチで締まり具合を調整してください
ゆるめすぎは分解、故障の原因となります

※開閉時に手、指など挟まないよう注意してください

※ベンチ上部には100kg以上の物を載せないでください。

ケイ・ジー・ワイ工業株式会社
<http://www.k-g-y.co.jp>

右のQRコードをご利用ください



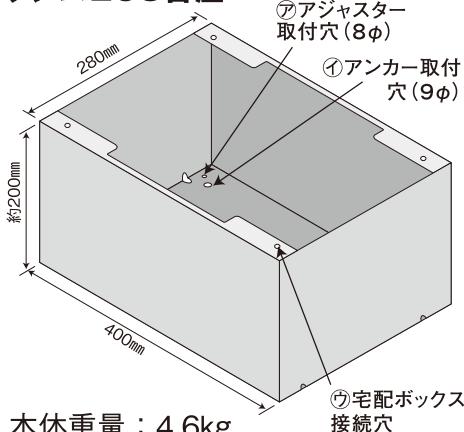
リシム台座

取扱説明書

製品の名称・サイズ

宅配ボックスリシム THB-258、THB-276 専用台座です（本体別売）

リシム258台座

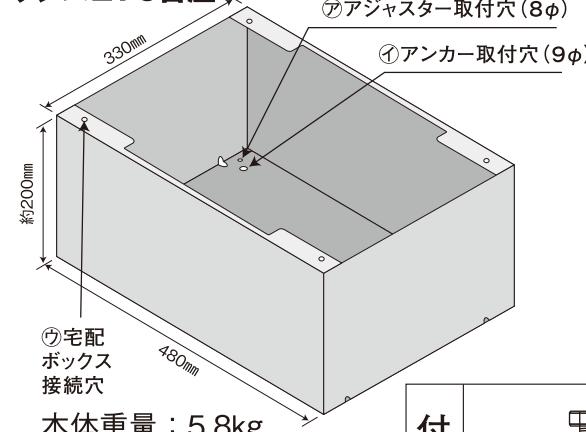


本体重量：4.6kg

材質：ステンレス（SUS430）

※別途コンクリートブロックが必要です ※アンカー取付可能対応アンカーネジ径：M8

リシム276台座



本体重量：5.8kg

付属品



アジャスター4本



宅配ボックス接続用
ネジ 4本

取付方法



注意 宅配ボックス本体(別売)は重量がありますので、取付時は手の保護の為に滑り止め付き軍手のご利用をおすすめします
宅配ボックスの扉やベースにブロックを入れる際には手や指等を挟まないようご注意ください

① ゴム足を取り外す

宅配ボックスのゴム足内部にあるナットを工具などで押さえながら、
本体内側にあるビスを回して取り外してください。

② アジャスターを取付ける

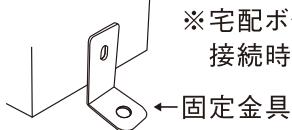
アジャスター取付穴⑦にアジャスターを取付けます
高さが水平になるように調整してください
※アンカー固定する場合はアンカー取付穴①を使用
してください、アンカーは付属しておりませんので
別途お買い求めください

③ コンクリートブロック(390×190×100)を入れる

図のように2個重ねて入れてください
※アンカー固定した場合も必ず入れてください

④ 宅配ボックスと台座の接続

①で取り外したゴム足の穴と台座上部の接続穴⑨と合わせ
付属のネジで宅配ボックス本体内部から締め付けてください。



※宅配ボックスに付いている固定金具は
接続時に取り外してください。

①



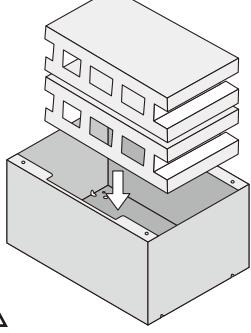
②

宅配ボックス本体(別売)を
横に寝かす時は十分に注意
してください

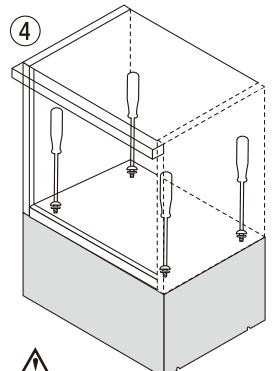


アジャスター取付時は
ナットを本体下部に
セットしてください。

③



⚠️ 台座にコンクリートブロックを
入れる際は手を挟まないように
ご注意ください



⚠️ 宅配ボックス本体は
重量がありますので台座に
乗せる際はご注意ください

使用上の注意／お手入れ方法

●本商品は宅配ボックスのかさ上げによる利便性向上と台座を安定させる事を目的とした商品で、盗難防止を主目的としておりません。
宅配ボックス及び中身の盗難や転倒、取付時のケガや事故が起こりましたが当社では一切の責任を負いかねます。

●ステンレスは絶対にさびない金属ではなく、他の金属に比べると耐久性に優れており、「さびにくい」性質を持っています。
ステンレスの表面には薄くて緻密な酸化皮膜ができていて保護の役目をしているからです。表面に軽いキズがついていても、空気中の酸素によって酸化皮膜を再生します。ところが、ステンレスの表面に付着したほこり、煤煙のすす、ちり、鉄粉などをそのままに放置しておきますと酸化皮膜の再生が妨害されてしまい、サビの原因となります。この状態の時に家庭用洗剤で水洗いをするなど表面を大切に手入れすればステンレスはいつまでも美しく保たれます。

【お手入れ方法】

●ステンレスの研磨方向に沿って、布・スポンジで拭きます。また、水溶性の中性洗剤をつけて軽く拭き取り、その後水洗いをすれば理想的です。

1. 金属タフシや研磨剤入りの洗剤などはキズの原因となりますので使用は避けてください。

2. 付着した油脂類を除去するためにシンナーを使用すると色調を乱しますのでやめてください。

3. 酸性またはアルカリ性の洗剤（塩酸、タイル洗浄剤、苛性ソーダなど）は変色を起こす恐れがありますので、使用しないでください。